

4室の中で最も広いスイートの「サックスブルー」。客室面積が71.5平方メートルと最も広い部屋。奥のベッド上の青い壁面のデザインや部屋の小物のスタイリングなどを美澤修氏が手がけている。部屋はこのほかに、マンダリンオレンジ、メーブルローズ、エバーグリーンがある。建築の設計と施工はミュージブランニングアンドオペレーターズが手がけた



バンケットルームも用意され、ウェディングも可能。写真はバンケットルーム前のライブラリー



エントランス横にはレストランも併設



屋上にあるジャグジー

ウ

ェディング事業やレストラン運営などを手がけるポジティブドリーム

パーソンズは2007年7月19日、神奈川県・葉山町にデザイン性を重視したという高級宿泊施設「SCAPES」をオープンした。部屋の窓から森戸海岸や江ノ島、富士山を見渡せる部屋数4室のコンパクトなホテルで、宿泊料金は1泊4万3890円から（サービス料・税金込）。

都内から自動車や電車で1時間30分ほどの立地。都会の喧嘩から逃れたいが、リゾート地へ行くほどの時間を取れない。そんなビジネスマンに向けた、週末の別荘というコンセプトで、小規模なホテルだからこそできる細やかなサービスを提供していくと言う。

そのサービスを提供するうえでキーとなるのが、グラフィックデザイナーの美

デザイナーズホテルは 建築家だけのモノじゃない

丸尾弘志 ● maruo@nikkeibp.co.jp

澤修氏による演出。シャネル銀座ビルのサイン計画や名古屋ミッドランドスクエアのファサードデザイン、フランク・ミュラーの広告などを手がけ、ラグジュアリーな表現を得意とする。

一般的にグラフィックデザイナーがホテルのデザインで手がけるのは、アメニティのパッケージやサイン、ホテルの帳票類ぐらいだ。ただSCAPESでは、各部屋の名前を色で呼ぶというコンセプトの立案に始まり、その色を部屋の中でどのように見せていくか、部屋に置く小物

を選び、どのような形で置かかといったスタイリング、そのための従業員の教育にまで美澤氏がかかわっている。

デザイナーズホテルという、これまでには建築家の名前が前面に出ることが多かった。ただ、ホテルの運営はハードだけではなく、顧客に良質な価値体験を与えるというソフト面でのデザインも欠かせない。今回のように、建築家以外のデザイナーをアートディレクターとして起用していく動きが今後活発になるかもしれない。